

日 本 海 東 北 自 動 車 道

中 条 地 区 道 路 概 略 設 計

特 記 仕 様 書

令和 7年 1月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社  
新 潟 支 社 新 潟 工 事 事 務 所

## 第1章 総則

### 1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 日本海東北自動車道 中条地区道路概略設計

1-1-2 路線名 日本海沿岸東北自動車道

1-1-3 履行箇所 自)新潟県聖籠町大字大夫 (S T A. 1 5 9 + 8 6)  
至)新潟県胎内市弥彦岡 (S T A. 2 7 2 + 8 6)

### 1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目	数 量	備 考
道路概略設計 設計計画	5. 0 9 k m	
道路概略設計 横断面作成	4. 7 2 k m	
図面修正A	2 2 枚	
軟弱地盤対策検討 対策検討A	3 0 断面	
軟弱地盤対策検討 対策検討B	3 0 断面	
軟弱地盤対策検討 対策検討C	4. 2 9 k m	
仮設構造物設計 土留工	3 0 箇所	

### 1-1-5 履行期間

本業務は、共通仕様書1-1-3「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式—1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得日の翌日から360日間まで

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得日の翌日から60日間まで

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）は、令和6年7月版とする。

### 1－3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1－1 2－4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 1 0 0 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- （１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 1 5 日以内
- （２）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 1 5 日以内
- （３）完了時は、完了届提出日の翌日から 1 5 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 1 5 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする

### 1－4 資料の貸与

共通仕様書 1－1 5－1 及び 5－2－3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
管理用図面		契約締結日の翌日より7日以内	電子データ
設計成果品	平成29年度 新潟支社管内道路構造検討業務	契約締結日の翌日より7日以内	電子成果品
	日本海東北自動車道中条地区道路概略設計	契約締結日の翌日より7日以内	電子成果品
	新潟管理事務所管内橋梁構造物検討業務	契約締結日の翌日より7日以内	電子成果品
土質地質調査成果品	日本海東北自動車道新発田地区土質調査	契約締結日の翌日より7日以内	電子成果品
	日本海東北自動車道中条地区土質調査（履行期間中業務）	令和7年7月予定	電子データ 下記項目を貸与 ・ 調査総合解析A ・ 地層地質横断図 ・ 沈下解析 ・ 調査ボーリング解析
測量業務成果品	日本海東北自動車道中条地区測量業務	契約締結日の翌日より7日以内	電子成果品

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く。

#### 1-5 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関
日本海東北自動車道中条地区土質調査	令和6年3月28日～令和8年1月16日	基礎地盤 コンサルタンツ（株）	東日本高速道路(株)

#### 1-6 計画工程表

##### 1-6-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出（2）計画工程表」に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書1-4「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、および共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
道路概略設計	現地踏査	
	設計計画	
	横断図作成	
	設計打合せ	
図面修正	図面修正 A	
軟弱地盤対策検討	対策検討 A	
	対策検討 B	
	対策検討 C	
構造物設計	仮設構造物設計 土留工（深さ 8 m 以上）	

#### 1-6-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿（共通仕様書様式第 1-4 号）に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-3-0-1 「契約変更」に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき「変更作業計画書」を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上定めるものとする。

#### 1-7 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-8 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は共通仕様書 1-4-4-1 「工事記録情報」の規定に従って、「工事記録収集システム」ヘデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-2）を完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

工事記録収集システムに関する問合せ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 設計条件

本設計の条件は下表に示す通りとする。

		備考
道路規格	1種2級B	
設計速度	$V = 100 \text{ km/h}$	
車線数	完成4車線、暫定2車線	
設計延長	5.09 km	平地部

### 2-2 道路概略設計

本業務は、現況の暫定区間を完成4車線とする設計（Ⅱ期線施工後、Ⅰ期線をⅡ期線へ迂回し軟弱地盤対策を行い完成4車線とする）及び現況の暫定2車線をⅡ期線側に移行する設計（現況のⅠ期線は軟弱地盤対策として既設盛土や舗装を取り除き、軟弱地盤対策を行ったⅡ期線を暫定運用する）である。概略設計区分は、下記の通りとする。

設計区分：道路概略設計（B）

#### 2-2-1 横断面図作成

横断面図作成は、過年度業務成果品及び軟弱地盤対策検討の成果に基づき、地形図から20m間隔の各測点の中心線と直角方向の地盤高を読み取り、図面作成要領に従って作成し、道路構造の表示及び切土、盛土断面、のり長の算出を行うものとする。横断面図作成の検測数量は、路線延長から橋梁高架を除いた延長（km）とする。

### 2-3 図面修正

図面修正は、過年度業務成果品及び軟弱地盤対策検討の成果を共通仕様書5-11-1「図面修正」に従い、図面修正を行うものとする。図面修正種別は下表のとおりとし、検測数量はそれぞれの図面枚数（枚）とする。

種別	図面修正率	図面区分	枚数	摘要
図面修正A	10%未満	比較的簡易な図面	22枚	平面図 16枚 標準横断面図 6枚

### 2-4 軟弱地盤対策検討

軟弱地盤対策検討とは、日本海東北自動車道 中条地区土質調査及び過年度業務成果品に基づき軟弱地盤対策工（許容沈下量「2cm/年」、「1cm/年」、「限りなく0cm/年」及び構造物化

検討)について、区間毎に代表断面を設定し、盛土除荷量の算出及び概算工事費を算定するものである。

#### 2-4-1 対策検討A

対策検討Aとは、EPSを用いた軟弱地盤対策工（許容沈下量「2cm/年」、「1cm/年」、「限りなく0cm/年」）において、各区間の代表断面の設定を行ったうえでそれぞれのEPS置き換え量等の概算数量・概算工事費（完成4車線、暫定2車線）を算定するものである。浮力対策検討範囲（洪水浸水が想定される地域）においては、EPS浮力対策ブロックを用いるものとする。ただし、橋梁区間は除くものとし、検測数量は断面とする。

#### 2-4-2 対策検討B

対策検討Bとは、EPSを用いた軟弱地盤対策工（許容沈下量「2cm/年」、「1cm/年」、「限りなく0cm/年」）において、各区間の代表断面の設定を行ったうえでそれぞれのEPS置き換え量等の概算数量・概算工事費（完成4車線、暫定2車線）を算定するものである。浮力対策検討範囲（洪水浸水が想定される地域）においては、経済性・施工性を考慮し、複数案の浮力対策を比較検討のうえ、最適な1案にて算定するものとする。

ただし、橋梁区間は除くものとし、検測数量は断面とする。

#### 2-4-3 対策検討C

対策検討Cとは、当該検討に必要な資料の収集を行い、設計延長を構造物化した場合の概算数量を算出し、概算工事費（完成4車線）を算定するものである。

対策検討Cの条件は下表に示す通りとし、検測数量は、延長（km）とする。

区間	延長	備考
S T A. 2 2 2 + 0 0 ～ S T A. 2 6 8 + 5 3	4. 2 9 k m	・ 橋梁延長は含めないものとする ・ 成果は道路概略設計 概略設計B レベルとし、構造計算は含めない ものとする

#### 2-5 仮設構造物設計 土留工（深さ8m以上）

仮設構造物設計 土留工（深さ8m以上）は、施工にあたって生じる仮設土留工（深さ8m以上）について構造検討を行うものである。設計区分は計画設計とし、検測数量は箇所とする。

#### 2-6 成果品

成果品（報告書）の表紙は、橙色（色番号SP-180）、黒文字製本とする。

#### 2-7 設計打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査を含め8回（初回打合せである現地踏査は除く）とする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務

の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上定めるものとする。

#### 2-8 補足事項

本業務において、次に示す項目を追加する場合があります、工期及び費用について変更するものとする。

- (1) STA. 159+86～STA. 222+00間の図面作成及び図面修正
- (2) STA. 222+00～STA. 272+86間の標準横断図作成



様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 日本海東北自動車道 中条地区道路概略設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

(3－2. 受注者が設定した業務の終期)

監督員 \_\_\_\_\_ 殿

受 注  
管理技術者 \_\_\_\_\_ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名		東日本高速道路(株) 新潟支社 新潟工事事務所	
調 査 等 名		日本海東北自動車道 中条地区道路概略設計	
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。